



参加者向けパンフレット

# 第8回次世代農業サミット

1

2

## 【主催】

3

- 公益社団法人 日本農業法人協会

## 【協力団体】

- 一般社団法人全国農業会議所
- 一般社団法人全国農業協同組合中央会
- 全国農業協同組合連合会
- 農林中央金庫
- 一般社団法人全国農業経営コンサルタント協会
- 全国共済農業協同組合連合会
- 一般社団法人日本フードサービス協会
- 株式会社日本政策金融公庫
- 全国農協青年組織協議会
- 全国稲作経営者会議
- 全国指導農業士連絡協議会
- 全国農業青年クラブ連絡協議会
- 農業女子プロジェクト

## 【運営協力】

- NPO法人日本プロ農業総合支援機構

## 【協賛】

- 一般社団法人全国農業協同組合中央会
- 農林中央金庫
- 朝日アグリ株式会社
- 全国農業協同組合連合会
- 全国共済農業協同組合連合会
- クミアイ化学工業株式会社

4

## 協賛企業

### 朝日アグリ株式会社

当社は循環型農業に貢献するべく、商品開発・生産・各種サービスの提供をしており、特に農業の基本であるより良い種子の供給と、土づくりを推進致します。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.asahi-kg.co.jp/agria/fertilizer>

連絡先 TEL : 0274-52-2732 E-MAIL : h.oota@asahi-kg.co.jp  
担当者：営業推進室 技術普及課 太田



### クミアイ化学工業株式会社

農業法人・担い手農家の皆様により良い情報をお届けし、お役に立ちたいと考えています。  
農業に関するお問い合わせは「担い手推進企画課」までご連絡下さい。

連絡先 TEL : 03-3822-6071 E-MAIL : t-seki@kumiai-chem.co.jp  
担当者：マーケティング部 担い手推進企画課 関 智之

自然に学び 自然を守る



# Z-GIS®

## 圃場管理はデータの時代 全農営農管理システム

全農の営農管理システム Z-GIS® は、スマート農業を実現。

さらに機能を充実!

みなさんの圃場と電子地図を関連づけ、営農管理を効率化します。

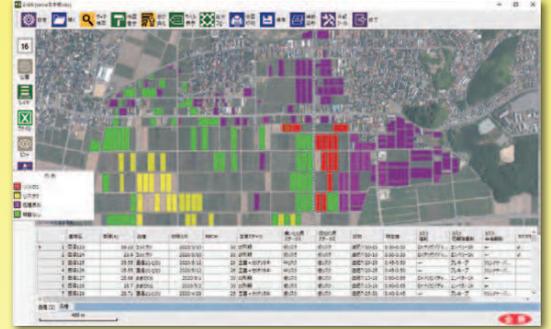


### ガルビオ®フィールドマネージャーと連携

# New!

#### 栽培管理支援システム

ガルビオ®フィールドマネージャーは作物や品種、タイムリーな気象情報、人工衛星からの画像解析など様々な情報を AI によって解析し、最適な管理の提案・より効率的なサポートをします。



#### ① 圃場・栽培情報の登録



#### ③ 各種情報・AIによる解析・提案

Z-GIS®を利用し、圃場や栽培概要のガルビオ®への登録、ガルビオ®が提供する生育予測や防除を最適化する情報を受け取れます。これまで以上に圃場管理の解析精度がグレードアップし、クラウド共有機能でユーザー間の栽培情報も共有することができます。

#### ② Z-GIS®で見える化情報利用



### Z-GIS®の機能

### Z-GIS®で各種情報と連携してデータ共有

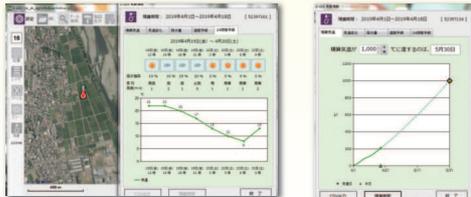
### Microsoft Excel®と連携して情報管理

#### パソコン版 Z-GIS®の画面構成



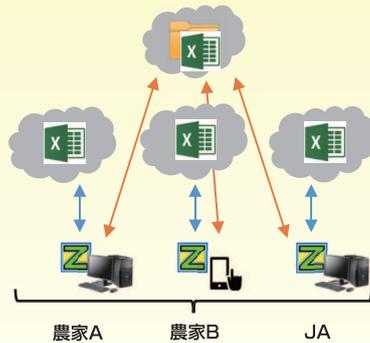
圃場の地図を色分けでき、わかりやすく、見やすい表示ができます。

#### 1km メッシュ気象情報



圃場の 1km メッシュ気象情報を提供しています。

#### クラウド上にデータを一括管理



#### グループ情報共有化機能

#### 天晴れとの連携



#### 人工衛星リモートセンシングと連携

#### Z-GIS®サーバ



#### 各種デバイスに対応!



#### 基本操作編



#### ユーザーインタビュー



### 動画を公開中



<https://z-gis.net/99/>

お試し版

まずは 31 日間無料のお試し版をご利用ください。  
(※一度だけ登録可能です)



全農は ICT を活用した圃場管理の効率化をめざしています

お問い合わせは 電話またはメールで...

JA 全農 耕種総合対策部 スマート農業推進課  
TEL.03-6271-8274 FAX.03-5218-2535  
E-mail zz\_zk\_smart@zennoh.or.jp



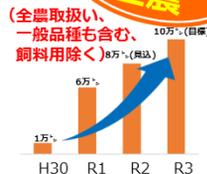
\*Excel®は Microsoft 社の登録商標です。  
\*Z-GIS®は JA 全農の登録商標です。

# 米の多収品種等による契約栽培のご提案

J A 全農



コロナ禍の影響により、需給状況は一時的に混乱しています！  
 全農では、生産者の皆さまの安定した営農の実現に向けて、  
 安定取引が見込める業務用実需者との契約栽培をご提案します！  
 また、需給環境をふまえ飼料用米等としての取組みもご提案します！



## 需要

新型コロナウイルスの感染拡大により、外食産業は大きな影響を受けているもの・・・



出典：農研機構2019「業務用米品種の普及を目指して」より。

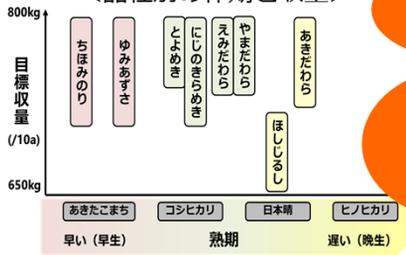
業態	展開例	実需者例
外食	丼もの、回転寿司等	回転寿司チェーン
中食	弁当、おにぎり等	弁当チェーン
企業給食、ケータリング	社員食堂、病院給食等	給食事業者
加工食品	パッパご飯、冷凍米飯等	加工米飯・冷凍食品メーカー

傾向として

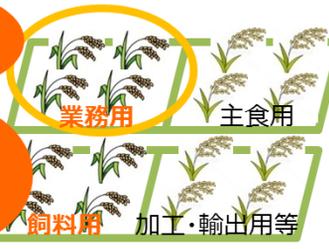
家庭用から業務用へ需要シフトは変わらない！

## 生産

<品種別の作期と収量>



経営面積の一部で  
 需給環境次第で飼料用なども



多収により  
 当たりの収入安定が可能に！

品種	主産地での高収取事例
ゆみあずさ	888kg(地域平均+335kg)
とよめき	902kg(地域平均+384kg)
ちほみのり	897kg(地域平均+444kg)
ほしじるし	707kg(県平均+242kg)
やまだわら	720kg(県平均+245kg)

出典：令和元・2年産での全農契約栽培圃場での高収取事例

リスクヘッジが可能に！

多収品種で作期・労力分散が可能に！ 複数年契約で長期安定的な販路を確保！

# 全農のご提案する多収品種

栽培にあたっては、  
 全農の総合力を活かし、  
 地域のJAと連携し、  
 栽培を最大限サポートします！

### 「ちほみのり」

栽培適地は東北地域以南で、出穂は「あきたこまち」より3日ほど早く、「あきたこまち」より10~30%多収が期待できます。葉いもち・穂いもちに強く、短稈で直播栽培向きです。穂発芽性が「やや易」のため、刈り遅れに注意が必要です  
 生産現場の声：10.5俵の反収を確保できており、作期が早いことも含め評価している。

### 「ゆみあずさ」

栽培適地は東北地域の中部以南で、熟期は「ひとめぼれ」よりやや早く、多肥栽培では「ひとめぼれ」より20%多収が期待できます。葉いもち・穂いもちにかなり強く、短稈で耐倒伏性に優れています。穂発芽性は「やや易」のため注意が必要です。  
 生産現場の声：倒伏に強く、収量も確保できたので、契約栽培の取組みを継続したい。

### 「やまだわら」

栽培適地は関東・北陸以西の中晩生品種で、多肥栽培では800kg/10a以上の収量が期待できます。4-HPPD阻害型除草剤成分への感受性が高いため注意が必要です。  
 生産現場の声：つくりやすく収量も確保できるので一定評価している。

### 「とよめき」

栽培適地は東北部平坦地および関東・北陸以西で、出穂は「コシヒカリ」並みで、多収品種のなかでは熟期が早い品種です。「コシヒカリ」と比べ多肥栽培で20%以上、多肥栽培では約60%高い収量が期待できます。4-HPPD阻害型除草剤成分への感受性が高いため注意が必要です。  
 生産現場の声：農業を始めて55年、いろいろな研究会に参加したが、これほど収量がとれたのは初めて。

### 「ほしじるし」

栽培適地は関東・北陸以西で、熟期は「日本晴」並み。「日本晴」より多肥栽培で10%、多肥栽培では20%多収が期待できます。縮葉枯病への抵抗性を持っており、耐倒伏性に優れ、直播適性があります。  
 生産現場の声：高く評価している。早生品種への集中による作業負担を軽減できる。

※空白となっている産地においても、上位以外の品種で契約栽培に取組んでいます。

上記以外の品種もご提案しますので、お問合せください！

⇒ J A 全農 米穀生産集荷対策部 事業企画課 TEL03-6271-8166

# 農業を取り巻くリスクに備えていますか？

農業法人のみなさまへ



## ～農業リスク診断活動のご案内～

### 農業には様々なリスクが潜んでいます

- 経営規模の拡大・6次産業化に伴って、**リスクが増大・多様化**
- 農業経営を取り巻く**リスクを認識されていないケースが多数**
- 一つひとつのリスクを認識されていても、**備えが無いケースが多数**
- ご自身で多様化した全てのリスクを把握し、対策を講じることは困難

### JA共済では、「農業リスク診断活動」を行っています！

ご自身の取り巻くリスクと現状の備えを「見える化」できます。  
例えばこのようなリスクへの備えはできていますか？

#### ✓ 経営者が万一の場合

- 経営者が突然亡くなり、金融機関への借入金の返済が困難となった。
- 経営者が突然亡くなり、経営者の遺族が高額な相続税を納税することとなった。



#### ✓ 労務管理

- 穀物保管倉庫での高所作業中に、従業員が転落死し、従業員の遺族から賠償金を請求された。
- 従業員が病気により身体障害状態となり、退職することとなった。



#### ✓ 従業員の退職

- 従業員が定年を迎え、退職金を支払う必要が生じた。



#### ✓ 休業

- 加工場が火災により全焼したため、生産再開までの間、売上高が減少した。
- 出荷した加工品により食中毒が発生したため、2週間営業停止となり、売上高が減少した。



ご自身の経営にどのようなリスクが存在するか確認してみませんか？  
JA共済では、リスク対策に役立つ**WEBサイト**もご提供しています。



農業を取り巻くリスクに備えていますか？  
「いざ」という時のために、チェックしてみましょう！

農業リスク診断  検索

<https://nougyoushindan.ja-kyosai.or.jp/>



5

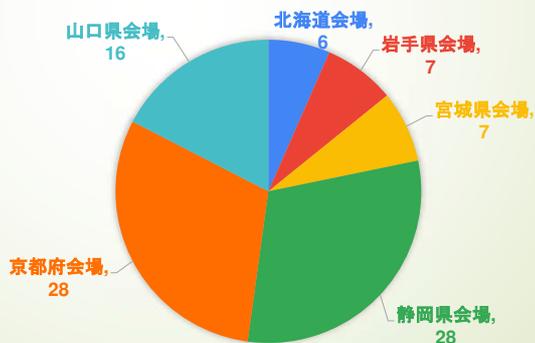
## 開催概要

- 主催 (公社) 日本農業法人協会
- 開催日時 2021年7月16日(金) 10:00~16:00
- 開催方法 Zoom(15分前から入室可能)・一部地域ではリアル会場併用
- リアル会場 北海道・岩手県・宮城県・静岡県・京都府・山口県
- 開催テーマ 「若手農業者が農業を語る」
- 参加対象者 農業者(法人または個人)、農業関係企業・団体、マスコミ等
- 参加費用 無料
- ZoomURL <https://us02web.zoom.us/j/81120090147?pwd=eDJMcklTVkd0MjR3cihYd2lsUDNodz09>  
ミーティングID: 811 2009 0147  
パスコード: 864936

6

## 出席状況

- 総出席予定者 193名 (うち農業者135名)
- オンライン参加 82名 (うち農業者43名)
- 会場参加 92名 (全て農業者、事務局等除く)
- 会場参加内訳



7

## 進行スケジュール

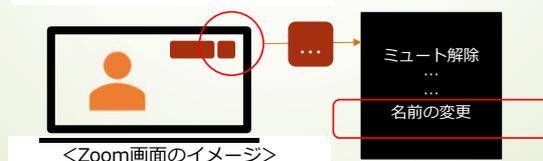
開始時間	終了時間	内容	備考等
10:00	10:10	開会挨拶・オリエンテーション	香山会長、鈴木委員長
10:10	11:10	農業者発表①・②（各10分）⇒グループ討議（20分）⇒質疑（20分）	①吉見さん②古賀さん
11:10	11:20	休憩	
11:20	12:20	農業者発表③・④（各10分）⇒グループ討議（20分）⇒質疑（20分）	③首藤さん④島田さん
12:20	13:10	休憩・昼食	
13:10	14:10	農業者発表⑤・⑥（各10分）⇒グループ討議（20分）⇒質疑（20分）	⑤宮本さん⑥村田さん
14:10	14:20	休憩	
14:20	14:50	アグリコーポレーション佐藤さん発表・質問	
14:50	15:20	自分自身が取組みたいこと（15分×2）	ブレイクアウトルーム
15:20	15:30	休憩	
15:30	15:50	全体での話し合い（テーマ「これから取組みたいこと」）	
15:50	16:00	事務連絡・閉会	酒井さん

8

## 進行上の留意点

- ▶ 当日はディスカッションや発表時以外は、原則ミュートをお願いいたします。
- ▶ カメラはON/OFFどちらでも構いませんが、発言の際は極力ONにしてください。
- ▶ 表示のお名前を下記に変更ください。  
「氏名@法人・団体名」（例）次世代 太郎@次世代ファーム
- ▶ 途中退室は自由です。
- ▶ 遅れて参加される場合、入室まで時間がかかる場合がございます。

### ※名前の変更方法（例）



9

## 発表者プロフィール

第8回次世代農業サミット

10

【代表発表者：長崎県】（当協会主催：夢コンテスト2040最優秀賞）  
株式会社アグリ・コーポレーション 代表取締役 佐藤 義貴 氏



2011年に五島市三井楽町に4,000坪の農地を購入し農業経営をスタート。現在は45haの農地全てを有機認証を取得し、有機安納芋・有機紫芋といった甘藷専門のオーガニックファーマー。「赤ちゃんに安全を、母親に安心を」をコンセプトに赤ちゃん向けに有機栽培した芋をベビーフードとして2019年に新設した工場で製造している。

「オーガニックをプラットフォームとした街づくり」を長期ビジョンに掲げ、耕作放棄地解消、地元雇用及び移住者を受け入れ41名体制。

11

【発表者①：長野県】（日本農業法人協会枠）  
 アスパラマル株式会社 代表取締役 吉見 雅史 氏



1975年、長野県長和町生まれ、31歳で就農。

「心に残るものづくり」を理念に、2015年アスパラマル(株)を設立  
 2020年、アスパラガス画像処理自動選別システムを導入し、地域の生産  
 者が集荷しやすい環境を整え、潰しあう事なく共存する仕組みを目指す。

他者から見たアスパラマル（あくまでも個人的な感想）

- ・アスパラのプロ、法人化を合わせた見事な事業継承(ベジアーツ 山本裕之)
- ・地域農業に新しい風を吹かすパイオニア、事務所おしゃれ(アグレス土屋梓)

12

【発表者②：福岡県】（農業女子PJ枠）  
 うるう農園 古賀 百伽氏



前職：保険営業

2017年 有明海の海苔漁師だった夫と新規就農

2018年 いちご栽培、観光農園開始

2019年 特別栽培認証、2019年度じゃらん九州人気いちご狩り  
 施設グランプリ優勝

2020年 法人化、2020年度じゃらん九州人気いちご狩り施設グ  
 ランプリ優勝

2021年 建設部門法人化、スイーツ店オープン予定

13

## 【発表者③：愛媛県】（4Hクラブ枠）

株式会社 維里 代表取締役 首藤 元嘉 氏



2012年親の離農をきっかけに就農。

2019年法人化。

愛媛県西条市で全圃場自然栽培にて水稻を中心に生産し、自社農産物を加工・販売している。ワークショップや農業体験を通じた消費者交流や企業CSRの受け入れも積極的に行なっている。事業ドメインを環境保全と設定し、ミッションは「農業を通じて、食と暮らしをととのえる」こと。子どもたちに豊かな地域の未来を残すべく活動している。

R3年度、全国農業青年クラブ連絡協議会 顧問

14

## 【発表者④：神奈川県】（農業女子枠）

株式会社 ゆうゆう農場 マーケティングマネージャー 島田 馨子氏



1977年生まれ、東京都出身。津田塾大学英文科を2000年に卒業後、印刷・広告代理店・会計事務所を5年ずつ経験。小笠原旅行をきっかけに移住に憧れ、まずは「お試し」と神奈川の農業生産法人に転職。

生産と同時に前職のノウハウを活かして業務整理、販促等の見直しを行い、3年で年商3倍増を達成。お客様の「美味しい」という言葉を喜びに、トライ&エラーの毎日を過ごしている。

「農業は身近」ということを一人でも多くの人に知ってもらいたい。

15 【発表者⑤：石川県】（4Hクラブ卒）  
宮本農産 宮本 健一氏



1987年生まれ。2010年に神戸学院大学経営学部を卒業、その後プロスノーボーダーを目指すも断念。(株)PlanDoSeeにて、神戸でのホテル勤務を経て2013年地元、石川県に戻り親元就農。2017年に事業承継を行う。現在は水稻・小松イ草を栽培・加工を行う、北限のイグサを作り続ける唯一の農家。

全国農業性クラブ連絡協議会の役員を歴任し、若手農業界の発展に尽力している。

16 【発表者⑥：京都府】（日本農業法人協会卒）  
ロックファーム京都株式会社 代表取締役 村田 翔一氏



2018年春に消防士を退職し、就農。  
九条ねぎの周年栽培に挑戦し2019年に「ロックファーム京都(株)」を設立。  
同年、九条ねぎに特化した販売会社「京葱SAMURAI(株)」を生産法人3社で設立。  
また常識にとらわれない発想でスイートコーンを自社ブランド化。「京都舞コーン」は2020年一大ヒット商品に。  
2021年には農福連携事業として就労継続支援事業所「ロックスターズ」を設立。  
今後もより一層農業の可能性を広げていきたい。